

花粉症対策の推進

- スギ花粉症は、国民の3割が罹患していると言われ、社会的・経済的に大きな影響。
- 「伐って利用」、「植替え」、「出させない」の3本の斧からなる花粉発生源対策を推進し、春季の国民の健康で豊かな生活・経済活動を回復するよう努める。

花粉発生源対策「3本の“斧”」

花粉症対策に資する苗木の生産を加速化させ、平成44年度までにスギ苗木の年間生産量に占める割合を、**約7割**にまで増加させる

第一の“斧” 伐って利用します

○ 花粉を大量に飛散させるスギ人工林を伐採・利用します。

花粉を大量に飛散させるスギ人工林の伐採を進めます。また、伐採されたスギについては、住宅に加えて、商業施設や公共建築物の木造化等に利用し、資源として活かしていきます。



花粉発生源のスギ立木の伐倒・除去

第二の“斧” 植え替えます

○ 花粉の少ない苗木等による植替えや広葉樹の導入を進めます。

花粉症対策に資する苗木の生産増大に最優先で取り組み、スギの伐採跡地への植栽を促進します。また、条件不利地においては、伐採後の広葉樹の導入等を進めます。



少花粉スギ苗木等の生産体制を強化

第三の“斧” 出させません

○ スギ花粉の発生を抑える技術の実用化を図ります。

スギ花粉の飛散防止剤の開発・普及等、スギ花粉の発生を抑え飛散させない技術の実用化を図ります。



伐採されたスギ材の利用拡大